

日吉台新聞

HIYOSHIDA

発行

日吉台学区自治連合会
日吉台学区
まちづくり協議会

発行責任者
林 堅太郎

編集責任者
村澤 真保呂

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書

支所統合案、ブロック協議へ

市と市自治連、協議紛糾の恐れも

支所統合問題で、大津市自治連合会(谷正男会長)は6月開いた定例会で、支所統合について、市民センター機能のあり方で、より良い案が出るまで36支所はすべて残すとした市と市自治連との確認案を了承したうえ、より良い案を求めて市内学区を7地域に区分けしている「7ブロックごとの協議」の実施を決めた。

大津市は、昨年暮れ、市民センターあり方検討のうち、現在36カ所ある支所を32年度中に10支所に統合集約化する支所再編、集約計画の素案を発表した。この素案では日

吉台支所は坂本支所へ統合されることになっている。素案提示で、統合される支所を持つ学区を中心に反発の声や反対意見が相次いだ。市自治連合会では、各学区のさまざまな意見を踏まえ、直美市長ら市側と協議を重ね、支所統合問題について「市として市民センターのより良いあり方を決定するまでの間は、36学区の市

民センターは設置継続することを確認した。市との確認を受け、市自治連合会では、30年度冒頭の定例会で、今後の協議の方向性について、市内36学区を地域ごとに7箇所にまとめたブロックごとに市と協議、合意点を探ることとした。6月の市自治連定例会では、各学区から市の提

案のし方、素案提示、市自治連の議論の取りまとめ方などに疑義がだされ議論が沸騰。このブロック協議は、市の案をゼロベースで行うことを確認した。しかし市側は「素案はすでに公表されたもの」。協議はフラットで行うものであるとし協議会のあり方に考えの違いをみせており、今後、曲折が予想される。



統合が取りざたされる日吉台市民センター



学区空き家対策委員会(小島善則委員長)は5月末開いた委員会で、学区内空き家の現況再確認調査の実施を決めた。平成28年に学区に空き家対策特別委が設置された直後、大津市と共同で学区内の空き家現況確認調査を実施したが、その後学区内で新築リフォーム、

空き家現況再確認調査へ

先進地視察や勉強会も

空き家対策委

不動産売買が相次ぎ現況が大きく変化しており、空き家に関する正確な情報と対策活動をより進捗させるため各丁に依頼して再調査を行うこととした。委員会では、再確認調査の実施方法を協議。平成28年の調査表をもとにヒアリング調査を検討し

ずつと住み続けたい日吉台をめざし学区空き家対策委員会は7月22日、午前10時、ワークショップ「ずっと・もっと」懇談会を開催する。

委員会では、今後ワークショップの開催、資産価値を上げるリフォームや相続対策などの勉強会、先進地視察など活動計画なども決めるとともに役員が各丁の組長会などで活動内容を説明、空き家対策に理解を求めるとしている。

日吉台 SOS ネットワーク

日吉台 SOS ネットワークは、日吉台で行方不明が発生した場合に、自治会員である方が助け合います。ご家族の申請により自治会、自治連合会と各種団体のメンバーが協力して捜索するネットワークです。

行方不明者が発生した時は?

- ご家族の方は速やかに市民センターか自治連合会へ、又は下記の各団体の連絡先へご連絡ください。各メンバーからの連絡を受けて SOS ネットワークが活動し、関係機関へ連絡させていただきます。
- 各団体の連絡先は行方不明発生時の手帳に記されています。

行方不明

- 市民センター 077-579-4518 (平日のみ)
- 自治連合会 090-3035-7212 (野口)
- 自治会
- 社会福祉協議会
- 自主防犯推進会
- 自主防犯委員会
- 体育振興会
- 老人クラブ連合会
- 青少年学区自治会
- 健康推進連絡協議会
- 子ど会
- スノー・クラブ青年部

日吉台学区自治連合会

たが、ヒアリングする場合は、2人以上の調査員が必要となす調査には、個人情報取り扱いもあり難しいと判断、ヒアリングをあきらめ各丁に対し平成27年10月から現在までの転入、転出の動きの報告、調査を求めるとした。

「みんなが集まる町」「健康な生活と健全な成長を見守る町」「助け合いの町」「楽しいコミュニケーションの5つの基本方針に基づき、学区の団体、住民の協力を得てまちづくり活動を展開している。

住み続けたいまち」となるよう5つの基本方針の具現化が必要となってきた。懇談会開催場としてこの懇談会開催となった。懇談会は、「日吉台・ものがたりづくり」をテーマにゲーム感覚で楽しく進めるワークショップ形式を採用、子どものころの思い出、今感じていること、将来こうなつて欲しいことなど、「ガリバーマップ」で日吉台をウォッチングする。無料。

7月22日、懇談会開催

日吉台学区は、雄琴、坂本、下阪本、唐崎学区とともに中北部ブロックに属し、素案ではこのブロックでは支所は坂本支所に統合されることになっている。

日吉台では、5月24日に石川県かほく市が、8月には富山県射水市からの視察が予定されており、空き家対策の視察研修が相次いでいる。

空き家対策で長浜市視察団訪問

7月31日

長浜市の市連合自治会(廣瀬真啓会長)の自治会視察研修の一行が7月31日、日吉台支所を訪問。まちづくりとして行う日吉台の空き家対策事業の研修を行うことが決まった。同市の武田昌幸市民活躍課長、野邊誠同課副理事が来訪、野々口義信自治連合会会長、濱崎博学区空き家対策事務局長らに「行政に頼りきらない日吉台学区独自のまちづくりと関連させた空き家対策を学びたい」と申し入れた。

やめよう 路上駐車

緊急車両の通行の妨げ、消火栓等の使用の邪魔になることがあります。見通しが悪くなり、事故を誘発する危険があります。

日吉台学区 自治連合会

文化のかがり高くコンサート



「チェロの名曲の数々を——」第3回日吉台コンサートが6月17日(日)午後2時、日吉台市民センター開かれ、200人がしばし生のクラシック音楽に酔いしれた。

チェロ奏者近藤浩志氏とピアノの河合珠江氏による演奏会、チェロの名曲を中心にエルガーの優しく、心温まる『愛の挨拶』から始まり、シューベルトのアルペジオーネソナタの3楽章にわたる演奏は、チェロの重低音の響き、中高音のリズムカルで、のびやかな演奏にチェロという楽器の素晴らしさを堪能し、聴衆は心地よく、眠るように聴き入っていた。

後半は『動物の謝肉祭より白鳥』、『シンデレラのリスト』などのお馴染みの曲も交じえ、チェロという楽器が、こんなにも哀しく、切ないものなのか、心に深くしみいる演奏が、詰め掛けた多くの人に感動を与えていた。

ようこそ先輩コンサート



日吉台小学校卒業生でマリンバ奏者の高木(旧姓村田)真穂恵さんを招いた日吉台小コミュニティスクール事業、「ようこそ先輩」マリンバ奏者まちえさんの音楽会が6月21日、母校の日吉台小体育館で開催。音楽会には、住民約200人が訪れ、同小の子どもたちと一緒にマリンバ演奏を鑑賞した。

高木さんは、日吉台小5年生の時、マリンバを始める。石山高音楽科、京都市立芸大を経て同大学院修了。これまでに第6回KOB E国際音楽コンクールで優秀賞ならびにタカハシパール賞、平成16年度平和堂財団芸術奨励賞などを受賞。打楽器奏者としてソロ、オーケストラ、アンサンブルなどで活動、現奈良県立高田高校音楽科非常勤講師、スタジオピッコロ、ゼンオン音楽講師などを務める。

この日の音楽会は、奈良市在住の同じマリンバ奏者の、小池美郷さん、日吉台在住のピアノ奏者、吉川康代さんが共演。子どもたちも高木さんに教わりながらマリンバや学校にある木琴を演奏したほか、アニメ「となりのトトロ」のオープニングテーマ曲「さんぽ」の演奏では、樋口大起教諭がチェロバを持参、飛び入り参加、子どもたちから大きな拍手を受け、みんなで楽しいひとときを過ごした。



市民センターで行われる日吉台コンサート

ようこそ先輩 マリンバ演奏

日吉台小
コミュニティ

チェロの名曲で魅了

日吉台小学校前の街路樹伐採工事で、市道路・河川課は30年度中に伐採街路樹跡の根の掘り起こし工事を行うことを明らかにした。街路樹の根元には、周辺の住民が好みの樹木や花などを植えているが、10月末までの移植を呼びかけている。

同市道路・河川管理課

4丁目のバス通りに植栽してある街路樹、プラタナス(すずかけ)の樹木診断を実施、診断の結果、樹木の根部分に腐食がみられるプラタナス35本がみつかり、放置すれば倒木の恐れがあると判断、学区の同意を得て伐採した。

3丁目、4丁目のメーン通りに植えられている

プラタナスは95本。学区住宅地開発直後から植栽されているもので、経年経過で老木化、これまでに枯死し、散発的に伐採されてきた。

市は、伐採した跡地に植樹する樹木について学区自治連合会と協議するとしてまだ決めていないが、植樹に先駆けの根の掘り起こし工事を先行させることにした。

日吉台小前道路で根掘り起こし

大切な樹木等は各自で移設を

7月28日開催の第20回日吉台夏まつりの出店内容とイベントステージの演技種目が5月に開かれた第1回実行委で大枠がかたまった。

夏まつりを盛り上げる出店団体は15団体。縁日でおなじみのたこ焼き、焼きそば、イカ焼き、焼き鳥、かき氷、アルコール類、清涼飲料水ほかア

会場中央のステージによるイベントでは、日吉台幼稚園児と合同保育を行う坂本幼稚園児の「園児のダンス」ほか比叡山高校吹奏楽委員会が初出演する。このほか、おなじみの盆踊り「江州音頭」、オバサンバ一座によるサンバ演奏などが予定されている。また、開幕に先駆けお神輿が学区内を巡行、まつりを盛り上げる。



7月28日、日吉台小で開催

学区夏まつり行事など固まる

クセサリー類など趣向こらしたお店が軒を連ねる。また、地元の人たちが手づくりの野菜を即売するまちづくり協議会の日吉台野菜マルシェコーナーほか、学区の子どもたちがレモンシロップを炭酸飲料でわったレモネードを販売する「こどもだらけの株式会社」が初出店する。

会場中央のステージによるイベントでは、日吉台幼稚園児と合同保育を行う坂本幼稚園児の「園児のダンス」ほか比叡山高校吹奏楽委員会が初出演する。このほか、おなじみの盆踊り「江州音頭」、オバサンバ一座によるサンバ演奏などが予定されている。また、開幕に先駆けお神輿が学区内を巡行、まつりを盛り上げる。

カラー紙面について

日吉台新聞編集部

今年5月号からみなさまにお届けしているカラー紙面いかがですか。これは、学区空き家対策委員会が民間のまちづくり支援を行うハウジングアソシエーションドミニオン財団に申請して認められた補助金の一部を活用したものです。この補助金は、1年間に限られていますので、来年5月から今のカラー紙面が継続できるか不明です。また住民の方から紙面の紙が上質すぎ無駄との指摘が編集部にも寄せられています。

紙の質については、今使用しています紙は、みなさまの家庭に届けられる折込広告のチラシと同じで、需要が多く、紙の質がよくても逆に価格が高くなっているのです。今までの紙質で印刷を依頼しますと紙面のカラーの精度が落ちるうえ価格も高くなってしまうのです。このことも含め補助金がなくなる来年度、カラー紙面をどうするか考えなくてはなりません。編集部で検討の時間をいただきましたと思っております。